



「ルミラージュちば」と「世紀越えフェスタ」(中央区)

第4回 定例会 の あ ら ま

平成12年第4回定例会が、11月30日から12月18日までの19日間の日程で開かれました。
この定例会では、補正予算および条例の制定や一部改正など25件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。
また、意見書10件、請願4件を審議したほか、各会派の代表質問が7人の議員により、一般質問が11人の議員により行われました。

可決した主な議案

生涯学習センター・中央図書館が 4月にオープン予定

《予算》

*一般会計補正予算

国の経済対策による国庫補助金の決定に伴い、道路、公園、廃棄物処理、交通拠点などの生活関連施設整備費や街路、土地区画整理事業などの都市基盤整備費を追加するなど、合わせて二十六億八千七百万円を追加します。この財源としては、国庫支出金十億五千二百万円、市債八億三千五百万円などとなっております。

一方、職員の給与の改定などに伴い、八億六千二百万円を減額します。これにより一般会計の予算総額は、三千四百六億六千六百万円になります。

《条例》

*千葉市コミュニティセンター設置管理条例の一部改正
新たに、中央区松波2丁目に中央コミュニティセンター松波分室を置くため、条例の一部を改正します。

*千葉市下水道条例の一部改正
下水道使用料の額を改定するため、条例の

一部を改正します。

*千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の施行に伴い、所要の改正を行うため、条例の一部を改正します。

*千葉市環境関係手数料条例の一部改正
廃棄物の処理及び清掃に関する法律および産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律の一部改正に伴い、一般廃棄物処理施設受託等許可申請手数料などを定めるため、条例の一部を改正します。

*特別会計補正予算(企業会計を含む)
下水道事業会計など3事業会計に合わせて十三億五千九百万円を追加します。これにより企業会計を含めた特別会計の予算総額は、二千九百五十八億五千六百万円になります。

《土地の取得》

若葉区球技場(仮称)の用地として、若葉区中田町の土地を三億五千五百万円で購入します。

《工事請負契約》

柏台小学校の大規模改造工事を三億六千三百万円で行います。

市民自由クラブ

新5か年計画について
5か年計画の策定に当たっての基本姿勢および目標に力を入れた施策は何か。
新5か年計画は、21世紀の市政運営の指針である新総合ビジョンに基づき、第1次実施計画である。計画策定に当たっては、これまでまちづくりの継続性を考慮し、健全財政を基本とした財政見直しと本市を取り巻く諸情勢を踏まえ、事業の優先性、有効性、効率性を総合的に検討するとともに、市民懇話会や区民懇話会、市民懇話会などの意見・要望をできる限り反映するよう心がけた。

また、併設される民間施設は、3階建ての1階の一部に下がる3階建ての複合型フロアを有する予定となっており、消費生活センターおよび計量検査所は1階および2・3階に入る計画である。これにより、民間施設から土地使市の負担を軽減できる。また、公共施設との相乗効果も期待でき、新たな雇用機会の創出にも寄与できるものと認識している。



消費生活センター・計量検査所複合施設完成予想図 (中央区弁天町)

PF1事業について

PF1事業を実施する事業者の選定には、競争性、公平性、透明性の確保が必要だが、どのように選定したのか。



代表質問から

12月7日(市民自由クラブ・千葉市議会公明党)、8日(日本共産党千葉市議会議員団・市政会・民主新政クラブ)、11日(市民ネットワーク・五月会)の3日間にわたり、7会派の代表から市政運営などについて質問が行われました。

民主新政クラブ

外郭団体のあり方について

外郭団体を設立した意義や果たすべき役割、実績について評価しているか。また見直しなどこれからどう取り組んで行くか。

本市には22の外郭団体があるが、それぞれ時代の要請に際し、福祉、文化、教育などさまざまな市民ニーズに対応するべき公共性を確保しながら、民間経営の手法により、機動性や弾力性を発揮できるという外郭団体の特質を生かし、積極的に活用してきた。外郭団体はその設立目的に即して重要な役割を果たしているものと考えているが、その事業内容や実績などについては、常に適正な評価がなされ、見直しを促すことについては、適切な対応を図るべきものと考えている。こうした観点で策定した「外郭団体の見直しに関する指針」に基づき、今後とも外郭団体の運営改善に努めていきたい。



小学校の校庭

中小学校の校庭の芝生化について

先日、教育委員会と市、印旛村立平賀小学校を訪ね、校庭の芝生化について視察したが、その感想について伺った。本市も印旛、小学校から校庭の芝生化を進めようか。

平賀小学校の芝生はよく整備されており、各段からの視察が相次ぐ素晴らしい芝生グラウンドの校庭である。これは、校長先生をはじめとする教職員、父兄、児童などの維持管理のため努力の結果であると感じた。本市での校庭の芝生化については、維持管理体制の難しさなど様々な課題があるため、今後政令市など他の市の状況を参考とし、関係部局と課題の研究に努めるとともに、モデル校の設置などで試験的に導入していきたい。

千葉市議会公明党

IT講習について

情報弱者に対して、全国的にIT講習が実施されることになったが、本市における講習の具体的な実施方法と取り組みについて伺った。

また、障害者への配慮も必要と考えるか。
IT講習は、国の予算で実施されるが、本市の場合、補助金の額から想定すると、講習の対象人員は、約2万8千人以上と予想される。講習の施設は、小・中学校、公民館などを予定しており、内容は、パソコンの基本操作、文書の作成、インターネットの利用などである。



中学校のコンピュータ室

産業振興について

本市の総合的な産業振興を進めるための中核的支援機関を早急に設置すべきかと思うが、見解を伺う。

また、新事業創出のための分野や総合的な支援体制の整備について伺う。
中小企業や創業者に対して、研究開発が事業化に至る一貫した総合支援に資するワンストップサービスを提供するなど、本市産業を支援する機関である(仮称)千葉市産業振興財団は、早期に設置する必要があると考える。

健康日本21について

国は、健康日本21を策定し、健康づくり運動を効果的に推進するために、地域の実情や特性に応じた健康づくり推進の具体的な地方計画の策定を進めているが、本市において、計画策定の独自の目標や数値をどのように考えているか。

市としては、生活習慣病とこれに起因する夏たまり・肺炎などの要介護状態となる高齢者が増加する中で、疾病の早期発見や早期治療にとりこまざることを、重点を置いた、健康づくりの推進に関する具体的な計画を策定することとしている。そのため、今年度は、食生活実態調査を実施し、基礎資料とするほか、既存の歯科疾患実態調査などのデータを活用することとしている。平成13年度は、これらの調査結果および基本健康診査



環境マネジメントシステム(ポケット版)

ISO14001の認証取得について

環境方針に向けた、市の環境方針について伺う。また、環境マネジメントシステムの試行運用に着手したが、審査登録機関による

本審査までのスケジュールについて伺う。
環境方針は、ISO14001の規格の要求事項にしたがって、本市の環境保全活動の取り組みに関する指針を表したもので、基本理念と基本方針から成り立っている。基本理念は、緑と水辺などの地域特性をいかしつつ、地球とともに生きる循環型都市をつくることにも、エコオフィス活動などの充実・発展を目指す国際規格に則した環境マネジメントシステムを構築し、環境に配慮した行動を踏まえ、行っていることとしている。基本方針は、人に、自然にやさしい環境づくりを進めること、環境への負荷を低減するための取り組みを継続的に推進することなど5項目である。本審査までのスケジュールは、平成12年12月から試行運用を開始しており、12年度末までに内部での環境監査と見直しを行い、13年度早期に本審査を受け、認証取得したい。

市民ネットワーク

雨水の貯留浸透事業について



雨水貯留浸透施設

雨水の貯留施設および浸透施設の助成であるが、浸水被害対策地域に限定していた補助区域を拡大するとのことだが、この範囲となるのか。

また、補助対象についてはどのようになるか。
補助区域の範囲は、これまで六方都市下水道流域、千葉公園周辺、蘇我

市民参加について

本市のこれからの市民参加のありかについて伺う。

また、新総合ビジョンに盛り込まれた市民参加条例は、新5か年計画原案に明記されていないが、策定について、どのように考えているのか。
市民参加の促進については、行政と市民によるパートナーシップに基づく市政を進めるうえで、大きな原動力となるものと考える。新総合ビジョンに参加と協働の社会を創る」として位置づけた。本市では、市民との意見交換や意見の反映を図るため、市長への手紙・市政モニター制度・ファミリーアンケート調査などの市民意識調査・インターネットホームページへの意見提案など各種の手法により、市民意見の聴取に努めてきているが、行政と市民が協働して市政運営を進めることが求められているので、今後とも、市民参加を進めていきたい。

日本共産党 千葉市議会議員団

介護保険の減免制度について

低所得の高齢者などに對しては、保険料・利用料の減免制度は、どうしても必要か。
本市でも減免制度を設けるよう求めるか。
65歳以上の第1号被保険者の保険料は、低所得者に負担軽減のために、負担能力に応じて5段階の所得段階別の定額保険料が定められている。また、市民税の課税状況から本来の保険料を適用すると生活保護の対象となる場合は、保護の対象とならない段階まで保険料を軽減できる。

なお、国は、保険料の全額免除は認めないなどの考え方を示している。
低所得者への配慮として、高額介護サービス費の限度額や施設入所の食費の標準額も検討している。

市長交際費について

交際費支出の相手方を公開しないのは、相手方のプライバシーを守るためと説明しているが、市長との交際が公開されるような相手やプライバシーの侵害となる相手とはだれか。また、市政功労者・市政協力者への見舞い、香典などが、社会通念上必要最小限抑へて全体の予算を減らすべきだがどうか。
交際費の全面公開を求めるか。
市長交際費の相手方は、千葉市情報公開審査会からの答申が公開されたような情報は不開示すべきことだが、従来より、支出に際しては、社会通念上必要最小限に抑えている。なお、支出額には差がある。市長をはじめとする特別顧問、関係者が含まれていることも、儀礼的交際として、相手方との関係を考慮し、個別具体的な事柄として決定しているからである。



若葉区介護保険課

五月会

防災情報の収集体制について

地震災害や水害において、避難手段などの決定に係る情報の収集手段をどのように確保しているか。また、今後、どのように充実を図っていくか。
地域住民の避難誘導など安全確保が重要なことは、気象情報などをきめ細かく早期かつ正確に呼び、その影響を的確に予測することであると考えている。現在、風水害や地震に関する防災情報として、気象庁から千葉県北西部の包括的な大雨に関する情報や震度情報などが提供されているが、市独自の対応として、本市に限定した予測情報を含む降水情報などを気象専門会社から収集している。これらの情報は、市内のパソコンネットワークを通じてパーソナルネットを通じて、防災対策局へも配信し、防災対策に活用している。

交通バリアフリー法のまちづくりについて
市町村は、国の基本方針に基づき、バリアフリー化を実現するための基本構想を作成することが求められているが、本市では、今後どのように作成するか。また、現在の取り組み状況について伺う。



モノレール千城台駅のエスカレーター(若葉区)

委員会審査・調査から

常任委員会

12月5日に開かれ、議案17件、請願4件、陳情1件を審査しました。その結果、全議案を可決し、請願、陳情は、採択送付1件、不採択2件、継続審査2件となりました。



保健下水道委員会審査風景

総務委員会

中央省庁等改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定や千葉市コミユニティセンター設置管理条例の一部改正など議案4件を審査し、中央省庁等改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定に関し、条例制定に伴う庁内印刷物の変更方法と経費について、質疑がありました。

保健下水道委員会

下水道事業会計補正予算や千葉市保育所設置管理条例の一部改正など議案5件、請願2件を審査し、千葉市保育所設置管理条例の一部改正に関し、菅田保育所の改築後における

職員体制について、質疑がありました。▼乳幼児医療費無料化の年齢の拡充に関する請願 不採択



菅田保育所(緑区菅田町2丁目)

環境建設委員会

一般会計補正予算や千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正など議案3件、陳情1件を審査し、千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正に関し、家電リサイクル法に規定された対象機器に4品目が選定された理由や各品目1台当たりのリサイクル単価などについて、質疑がありました。

▼東千葉の地盤沈下防止に対する諸施策に関する陳情 採択送付

経済教育委員会

千葉市農業集落排水処理施設条例の一部改正や千葉市生涯学習センター設置管理条例の制定など議案8件、請願2件を審査し、千葉市生涯学習センター設置管理条例の制定に関し、職員配置と管理・運営方法の概要や他都市の施設と比較してのすぐれた特徴などについて、質疑がありました。▼30人以下学級の実現を求める請願 不採択



工事が進む生涯学習センター(中央区弁天3丁目)

都市消防委員会

一般会計補正予算の議案1件を審査し、土地区画整理組合等指導事業費に関し、組合施行にとつて厳しい経済状況下での指導のあり方や組合の実態を把握するための立入調査の必要性などについて、質疑がありました。

特別委員会

大都市税財政制度・地方分権調査特別委員会

10月20日に開かれ、社会福祉施設の整備推進を図るための予算の確保など、各政党への要望運動に係る本市

の重点要望事項などについて協議しました。

少子・高齢化社会対策調査特別委員会 12月21日に開かれ、新学習指導要領や地域ぐるみ教育推進事業などについて調査しました。

一般質問

市政に関する一般質問が、12月12日・13日・14日および15日の4日間、11人の議員により行われました。主な質問項目は次のとおりです。

- 千葉市ベイエリアの再生への取り組みについて
- 防災対策について
- 福祉行政について
- 自立支援の福祉サービスについて
- 健康づくり施策について
- 地域経済の活性化にむけての取り組みについて
- 畜産糞尿、生ゴミ、下水汚泥の資源化について
- 千葉市住宅政策の改善について
- 生活環境の整備について
- 新港横戸町線と道路政策について
- 消防行政について

可決した意見書(要旨)

議員提出議案として10件の意見書を審議し、次の3件を可決しました。可決した意見書は、国会および関係行政機関に提出しました。

日本自転車振興会に対する交付金制度の見直しを求める意見書

国に対し、競輪施行者が収益を確保し、自転車競技法の目的達成、とりわけ地方財政健全化に寄与できるよう、日本自転車振興会に対する交付金の見直しを要望する。

遺伝子組み換え作物の検査体制の確立を求める意見書

国に対し、アメリカなど生産国が、作付け・流通・輸出の段階でのチェック体制を確立するよう求めるとともに、未承認の遺伝子組み換え作物が国内に入らないよう水際での検査体制を確立して、安全性の確保ができるよう求める。

NPO(特定非営利活動法人)支援税制を求める意見書

国に対し、「NPOに対する寄付金」の所得控除・損金参入制度に加え、独立性の高い第三者機関による認定機関を設置し、NPO法人が要件を満たしたときに、法人事業税の減免などの税制支援措置が受けられるよう求める。

議員の各種審議会などの参画の見直しについて

本市議会では、今年四月から、議員が参画する審議会などの数を、現在の46から16へ削減することを決定しました。また、参画する議員数も、延べ174名から113名へと削減します。

これは、市長の設置する各種審議会に、議決機関である議会の議員が関与することは望ましくないとの考えから、幹事長会議において協議を重ね、法令に規定されている場合などを除き参画しないこととしたものです。



表紙に掲載しました写真は、去る12月1日から1月31日にかけて、中央公園からJR千葉駅東口まで点灯された、千葉

「ルミラーージュ」は、千葉の冬の風物詩として、今後も続けて行われます。また、「世紀越えフェスタ」では、ストリートミュージシャンの競演や新世紀結婚式などが行われ、多くの市民で賑わいました。

「ルミラーージュ」は、千葉の冬の風物詩として、今後も続けて行われます。また、「世紀越えフェスタ」では、ストリートミュージシャンの競演や新世紀結婚式などが行われ、多くの市民で賑わいました。

「ちば市議会だより」発行委員会 問い合わせ先 議会事務局調査課 043(245)5472

